

「平成21年度かがわ生涯スポーツフォーラム」が開催されました

子どもから高齢者まで誰もがいつでも参加できる総合型地域スポーツクラブを推進していくため、「平成21年度かがわ生涯スポーツフォーラム」が12月12日(土)まんのう町町民文化ホールで県内のスポーツ関係者約230名が参加して盛大に開催されました。

○開会行事

細松県教育委員会教育長から「誰もがそれぞれの年齢や体力、目的に応じて気軽にスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会を築くことは、人生80年、90年といわれている現在、県民の皆さん一人ひとりが健康で生きがいのある生活を営む上で、たいへん重要な課題であると考えており、今後の生涯スポーツ振興の基盤となる総合型地域スポーツクラブの育成やその活動の充実、発展を目指して開催するものであります」と開会の挨拶がありました。



開会行事 細松 県教育委員会教育長挨拶



コーディネーター：齊藤氏

○シンポジウム

コーディネーターとして香川短期大学教授・NPO法人ELF丸亀理事長の齊藤栄嗣氏をお迎えし、「総合型地域スポーツクラブの意義～地域のスポーツ環境について一緒に考えてみませんか?～」と題してシンポジウムを行いました。シンポジストとしてプレゼンテーションをしていただいた、龍谷大学経営学部准教授の松永敬子氏からは、『運動したいけどできていない人が30%～50%』『少子化による部活動・スポ少の種目・団体の減少』『子どもの体力低下＝二極化』『基礎代謝の低下＝41年前に比べ1日100kcal使わない』などの体力やスポーツ環境などの問題が提起されました。また、日本体育協会中央企画班員の伊倉晶子氏からは、『地域において同じ目的を語れる仲間＝仲間を増やそう』『子どもから見て大人はカッコいい＝熱く真剣に語れる、行動のできる大人』『スポーツを含む放課後子ども教室』など

『スポーツだけの活動でなく、スポーツを含んだ



地域社会の貢献』について、ご自身が実践されている事例をプレゼンテーションいただき、その後、まんのう町から3名のスポーツ団体などの関係者を交えた討論を行いました。齊藤氏から『スポーツを広義に捉えること＝競技だけでない、健康づくりや地域のコミュニケーションづくり＝地域の祭りと一緒に』『大人がスポーツへの関心があれば、子どものスポーツへの関心は向かない＝スポーツ機会の低下』『スポーツを楽しめる意識こそが大事である』とまとめられました。

○県内クラブ事例発表

香川県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の設立について



県連絡協議会会長 野崎氏

香川県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会会長である、香川大学教授・屋島UROスポーツクラブマネージャーの野崎武司氏から、今年5月31日に県内クラブの定着・発展を促進するために、情報交換や交流の活性化を図り、生涯スポーツの実現に寄与することを目的に、県内全クラブの賛同を得て連絡協議会を発足したとの報告があり、その後、3クラブの事例発表が行われました。

■屋島UROスポーツクラブ

平成18年2月に浦生地区の、なぎなた、剣道、卓球、バドミントンの指導者が中心となって設立され、教室のほかに、どろんこ運動会などのイベントを開催しており、今回は「なぎなた演武」と、なぎなたと剣道が試合を行う「異種武道交流試合」を披露していただきました。



■さらスポーツクラブ



障がい者と健常者の壁をなくし、すべての人たちがともに楽しく活動できるクラブを目指して今年4月に設立され、ボディーフットサルや料理、ふうせんバレーボールなどの教室を開催しており、今回は「手話コーラス」を披露され、会場の参加者を巻き込み盛り上げていただきました。



■さぬき三木スポーツクラブ



町総合運動公園を拠点として平成19年2月に設立され、さまざまな通年教室やサークル活動、短期教室やイベント、大会などを開催しており、今回はオリエンタルエクササイズ教室で行っている、「導引養生功」を披露していただきました。